



平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年3月29日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハニーズ
コード番号 2792

URL <http://www.honeys.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江尻 義久

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 西名 孝

(TEL) 0246-29-1111

四半期報告書提出予定日 平成28年4月14日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第3四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第3四半期	42,529	△0.1	984	333.8	△481	—	△1,001	—
27年5月期第3四半期	42,590	△2.9	226	△74.5	2,265	212.5	848	—

(注) 包括利益 28年5月期第3四半期 △2,698百万円(—%) 27年5月期第3四半期 2,317百万円(640.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第3四半期	△35.92	—
27年5月期第3四半期	30.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第3四半期	36,827	30,294	82.3	1,086.91
27年5月期	42,161	33,555	79.6	1,203.72

(参考) 自己資本 28年5月期第3四半期 30,294百万円 27年5月期 33,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年5月期	—	10.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,100	0.1	2,600	20.0	1,000	△77.4	300	△84.6	10.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年5月期3Q	27,900,000株	27年5月期	27,900,000株
28年5月期3Q	28,112株	27年5月期	23,992株
28年5月期3Q	27,874,862株	27年5月期3Q	27,879,717株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、第2四半期までは緩やかな回復軌道にありましたが、その後市場の混乱が景況感の悪化につながり、個人消費、設備投資、輸出が低迷するなど、2四半期ぶりのマイナス成長となりました。

当社グループが属する婦人服専門店業界は、11月、12月と暖冬の影響を受け、重衣料を中心に消費が弱含むなど厳しい経営環境が続きました。また、実質所得が伸び悩んでいるため、価格選好が強まる傾向にあります。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、既存店の活性化を図る施策として、柔軟な価格設定により客数の増加を目指しました。また、商品の動きに合わせて機動的に価格を見直すなど、在庫回転率の向上にも注力しました。

商品企画につきましては、幅広い年齢層をカバーし、かつ年代間でバランスの取れた商品構成を心がけました。また、従来にも増して、店の立地・特性に合わせてきめ細かい商品の投入を図りました。その他、ファッション誌とのコラボレーション企画や実店舗とECの連動販促企画など、さまざまな販促活動に取組み、販売力強化を推し進めてまいりました。

また、中国における生産コストの上昇に対応するため、生産国のアセアンシフトを進め、アセアン比率を高めてまいりました。特に、ミャンマー自社工場では安定した生産体制を維持・拡大しました。

店舗展開に関しましては、引き続きスクラップアンドビルドを進めた結果、当第3四半期連結会計期間末における国内店舗数は846店舗となりました。

中国子会社である好麗姿(上海)服飾商貿有限公司(注)におきましては、不採算店舗の退店を進めた結果、当第3四半期連結会計期間末における直営店舗数は503店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は425億29百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は9億84百万円(同333.8%増)となりましたが、急速に円高が進みデリバティブ評価損が増加した結果、経常損失は4億81百万円(前年同期は経常利益22億65百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は10億01百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益8億48百万円)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<日本>

日本における売上高は324億17百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は11億75百万円(同686.7%増)となりました。売上高は前年とほぼ同水準となりましたが、販売費及び一般管理費を削減した結果、増益となりました。

<中国>

中国における売上高は101億12百万円(前年同期比2.6%増)、営業損失は2億44百万円(前年同期は営業損失29百万円)となりました。売上高は前年を上回ったものの、粗利益率が低下し、減益となりました。

<その他>

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマー現地法人の事業活動を含んでおります。当第3四半期連結累計期間における営業損失は70百万円(前年同期は営業利益13百万円)となりました。

(注) 好麗姿(上海)服飾商貿有限公司の社名は中国語簡体字を含んでいるため、日本語常用漢字で代用してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて53億34百万円減少して368億27百万円となりました。これは、たな卸資産が増加し、売掛金、為替予約が減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて20億73百万円減少して65億32百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が増加し、繰延税金負債、未払法人税等が減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて32億60百万円減少して302億94百万円となりました。これは、利益剰余金、繰延ヘッジ損益が減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、急速に円高が進んだことによりデリバティブ評価損が増加したため、当初の想定を下回る見込みであることから、平成28年1月7日の第2四半期決算公表時に発表いたしました平成28年5月期通期業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日別途開示します「通期業績予想の修正及び営業外費用の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,781,453	6,844,175
売掛金	4,691,262	2,571,721
たな卸資産	7,789,610	8,378,038
未収還付法人税等	106	6,832
その他	4,428,621	1,130,099
貸倒引当金	△919	△39,796
流動資産合計	23,690,135	18,891,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,756,219	6,461,873
その他	3,135,965	3,170,368
有形固定資産合計	9,892,185	9,632,241
無形固定資産		
その他	377,670	338,203
無形固定資産合計	377,670	338,203
投資その他の資産		
差入保証金	7,505,462	7,267,493
その他	704,954	705,534
貸倒引当金	△8,901	△7,411
投資その他の資産合計	8,201,515	7,965,617
固定資産合計	18,471,370	17,936,062
資産合計	42,161,505	36,827,132
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,271,428	1,505,475
短期借入金	370,500	371,969
未払法人税等	815,101	153,002
ポイント引当金	2,590	20,830
資産除去債務	15,301	26,000
その他	4,380,873	2,648,530
流動負債合計	6,855,796	4,725,809
固定負債		
退職給付に係る負債	940,106	992,272
資産除去債務	807,869	805,160
その他	2,688	9,610
固定負債合計	1,750,664	1,807,042
負債合計	8,606,460	6,532,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,566,800	3,566,800
資本剰余金	3,941,880	3,941,883
利益剰余金	23,518,520	21,959,654
自己株式	△24,060	△28,764
株主資本合計	31,003,140	29,439,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,246	7,013
繰延ヘッジ損益	1,123,811	△64,192
為替換算調整勘定	1,382,999	883,138
退職給付に係る調整累計額	30,847	28,746
その他の包括利益累計額合計	2,551,905	854,706
純資産合計	33,555,045	30,294,280
負債純資産合計	42,161,505	36,827,132

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
売上高	42,590,334	42,529,709
売上原価	18,020,071	18,224,763
売上総利益	24,570,262	24,304,946
販売費及び一般管理費	24,343,316	23,320,529
営業利益	226,946	984,416
営業外収益		
受取利息	2,488	3,047
受取配当金	428	471
為替差益	164,116	—
受取地代家賃	26,353	25,127
受取補償金	4,300	2,466
デリバティブ評価益	1,775,149	—
補助金収入	67,431	69,038
貸倒引当金戻入額	5,250	2,874
雑収入	28,043	31,611
営業外収益合計	2,073,560	134,638
営業外費用		
支払利息	17,918	8,729
為替差損	—	188,797
デリバティブ評価損	—	1,394,827
雑損失	17,217	8,608
営業外費用合計	35,135	1,600,962
経常利益又は経常損失(△)	2,265,371	△481,907
特別利益		
固定資産売却益	—	2,812
受取損害賠償金	3,032	—
その他	—	108
特別利益合計	3,032	2,920
特別損失		
固定資産除却損	272,137	191,020
減損損失	133,596	148,167
その他	17,581	24,855
特別損失合計	423,315	364,043
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	1,845,087	△843,031
法人税、住民税及び事業税	499,604	688,900
法人税等調整額	496,590	△530,572
法人税等合計	996,194	158,327
四半期純利益又は四半期純損失(△)	848,892	△1,001,359
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	848,892	△1,001,359

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	848,892	△1,001,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,989	△7,233
繰延ヘッジ損益	755,413	△1,188,003
為替換算調整勘定	703,387	△499,860
退職給付に係る調整額	5,863	△2,101
その他の包括利益合計	1,468,655	△1,697,198
四半期包括利益	2,317,547	△2,698,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,317,547	△2,698,558
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	32,737,396	9,852,938	42,590,334	—	42,590,334
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	283,417	283,417
計	32,737,396	9,852,938	42,590,334	283,417	42,873,752
セグメント利益	149,459	△29,437	120,021	13,149	133,171

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマーの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	120,021
「その他」の区分の利益	13,149
セグメント間取引消去	93,774
四半期連結損益計算書の営業利益	226,946

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、それぞれ87,863千円、45,732千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において133,596千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	32,417,054	10,112,655	42,529,709	—	42,529,709
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	549,645	549,645
計	32,417,054	10,112,655	42,529,709	549,645	43,079,355
セグメント利益	1,175,749	△244,337	931,411	△70,034	861,376

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマーの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	931,411
「その他」の区分の利益	△70,034
セグメント間取引消去	123,040
四半期連結損益計算書の営業利益	984,416

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、それぞれ97,504千円、50,663千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において148,167千円であります。